

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	日本語学科(昼間部1.5年制)		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	文法(中上級)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	160 (8) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時間	前期	教室名	501教室
担当教員	山上直子、中村絵、瀬野幸子	実務経験とその関連資格	【中村】2013年3月に大学にて日本語教員養成課程を修了。その後、Universidad Espiritu Santo (エクアドル)において2年間、日本語を教えた。帰国後、大阪府立桃谷高等学校III部で半年間、英語を教えるかかわり外国籍の学生に対して日本語を教えていた。			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>毎回、授業の最初に前日のチェックテストを実施する。文法中心の講義になるが、読解文法や短文読解では意見をまとめ、それを自分の言葉に変えて分かりやすく説明するなど総合的な日本語力を身につける。就職面接では考えをすぐにまとめ伝える力が必要になる。読解文法では5W1Hなどの質問を日本語で理解し、わかりやすく答える力をつける。毎回、15-20分日本語能力試験対策形式の問題を解く時間をとる。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>1. 定期試験:70% 2. 宿題提出:20% 3. チェックテスト:10% 成績評価基準のさらなる評価については授業中に指示する。</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』、『日本語能力試験N2完全模試(Jリサーチ)』 『ドリル&amp;ドリルN2((ユニコム)』(週末宿題用) 『学ぼう日本語 初中級』(日本語教育開発委員会)、『学ぼう日本語 中級』(日本語教材開発委員会)』</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>授業前に本文を一読し、わからない語彙は調べておくこと。 授業後は復習をすること、次の授業の最初に毎回チェックテストを課す。 週末に宿題を課す。普段からできるだけ日本語を使おうという気持ちを持つことは大切です。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>将来日本で就職することを目標に、選択問題だけではなく、短文作成や、既習文型との対比、接続などにもポイントを置き、運用力を重視した授業を行う。読解文法では全体の流れをつかみ総合力を身につける。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	実力を知る。	オリジナル		
	講義形式	各コマにおける授業予定	模擬試験(N5~N3レベル)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	読解文法 お礼の言葉や感謝の言葉が言えるようになる。	『学ぼう日本語 初中級』(日本語教育開発委員会)』	予習、復習	
	講義形式	各コマにおける授業予定	「学ぼう日本語初中級3課」 文型:おかげで、せいで、~ように、~て(理由)、~て(行為の授受)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	お礼の言葉や感謝の言葉が言えるようになる。	『学ぼう日本語 初中級』(日本語教育開発委員会)』	予習、復習	
	講義形式	各コマにおける授業予定	「学ぼう日本語初中級3課」 文型:おかげで、せいで、~ように、~て(理由)、~て(行為の授受)			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	1課 ことがらが説明できるようになる。 ~とき、~直後にと同じ機能のN2の言葉	『新完全マスター N2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習	
	講義形式	各コマにおける授業予定	復習:~とき、~と 文型:~際(に)、~二歳して、~あたって、~たとたん(に)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	1課 ことがらが説明できるようになる。 文型:~とき、~直後にと同じ機能のN2の言葉	『新完全マスター N2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習	
	講義形式	各コマにおける授業予定	文型:~(か)と思うと、~(か)と思ったら、~か~ないかのうちに問題			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	2課 ことがらが説明できるようになる。 ～していると同じ機能のN2の言葉	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	前の課のチェックテスト 文型:～ているところ、間に、～最中だ、～うちに、～ばかりだ・一方だ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	2課 ことがらが説明できるようになる。 ～していると同じ機能のN2の言葉	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:～ようとしている、～つつある、～つつ問題		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	3課 ことがらが説明できるようになる。 ～後でと同じ機能のN2の言葉	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	前の課のチェックテスト 文型:～た後で、～てから、～てはじめて、～た上(で)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	3課 ことがらが説明できるようになる。 ～後でと同じ機能のN2の言葉	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:～次第、～て以来・～てこのかた、～てからでない・～てからでなければ 問題		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	読解文法 問題に対しアドバイスできるようになる。	『学ぼう日本語初中級』(日本語教育開発委員会)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	「学ぼう日本語初中級14課」 文型:～ことはない、～しかない、～かわりに、～にかわって		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	お礼の言葉や感謝の言葉が言えるようになる。	『学ぼう日本語初中級』(日本語教育開発委員会)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	「学ぼう日本語初中級14課」 文型:アドバイスの時に使う表現、話す、書く。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	4課 ことがらが説明できるようになる。 範囲の始まりと終わり・その間の説明ができる。	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:から～かけて、～で(最終を表す)、～をはじめ(として)、～からして、～にわたって		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	4課 ことがらが説明できるようになる。 範囲の始まりと終わり・その間の説明ができる。	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:～をつうじて、～をとおして、～限り、～だけ問題		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	5課 ことがらが説明できるようになる。 限定の意味を「限り」を使って言える。	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	～だけ、～しか～ない、～に限り		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	5課 ことがらが説明できるようになる。 限定の意味を「限り」を使って言える。	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型: ～限り(は)、～限りでは、～に鍵って 問題		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	日本語学科(昼間部1.5年制)		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	文法(中上級)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	160 (8) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時間	前期	教室名	501教室
担当教員	山上直子、中村絵、瀬野幸子	実務経験とその関連資格	【中村】2013年3月に大学にて日本語教員養成課程を修了。その後、Universidad Espiritu Santo (エクアドル)において2年間、日本語を教えた。帰国後、大阪府立桃谷高等学校III部で半年間、英語を教えるかわり外国籍の学生に対して日本語を教えていた。			
<b>《授業科目における学習内容》</b> 毎回、授業の最初に前日のチェックテストを実施する。文法中心の講義になるが、読解文法や短文読解では意見をまとめ、それを自分の言葉に変えて分かりやすく説明するなど総合的な日本語力を身につける。就職面接では考えをすぐにまとめ伝える力が必要になる。読解文法では5W1Hなどの質問を日本語で理解し、わかりやすく答える力をつける。毎回、15-20分日本語能力試験対策形式の問題を解く時間をとる。						
<b>《成績評価の方法と基準》</b> 1. 定期試験:70% 2. 宿題提出:20% 3. チェックテスト:10% 成績評価基準のさらなる評価については授業中に指示する。						
<b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b> 『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』、『日本語能力試験N2完全模試(Jリサーチ)』 『ドリル&ドリルN2((ユニコム)』(週末宿題用) 『学ぼう日本語 初中級』(日本語教育開発委員会)、『学ぼう日本語 中級』(日本語教材開発委員会)						
<b>《授業外における学習方法》</b> 授業前に本文を一読し、わからない語彙は調べておくこと。 授業後は復習をすること、次の授業の最初に毎回チェックテストを課す。 週末に宿題を課す。普段からできるだけ日本語を使おうという気持ちを持つことは大切です。						
<b>《履修に当たっての留意点》</b> 将来日本で就職することを目標に、選択問題だけではなく、短文作成や、既習文型との対比、接続などにもポイントを置き、運用力を重視した授業を行う。読解文法では全体の流れをつかみ総合力を身につける。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	6課 ことがらが説明できるようになる。だけでなく、それに加えて	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習	
		各コマにおける授業予定	～に限らず、～のみならず、～ばかりか			
第17回	実習形式	授業を通じての到達目標	6課 ことがらが説明できるようになる。限定の意味を「限り」を使って言える。	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習	
		各コマにおける授業予定	文型: ～もとより、～上(に) 問題			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	7課 ことがらが説明できるようになる。～ついて、～を相手にして	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習	
		各コマにおける授業予定	文型:～に関して、～をめぐる、～にかけて			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	7課 ことがらが説明できるようになる。限定の意味を「限り」を使って言える。	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習	
		各コマにおける授業予定	文型: ～対して(A、B)、～にこたえて 問題			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	読解文法 問題に対しアドバイスできるようになる。	『学ぼう日本語 初中級』(日本語教育開発委員会)』	予習、復習	
		各コマにおける授業予定	「学ぼう日本語初中級17課」 文型:～せいで、～ばかりに、～ところ、～たとたん			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	状況が説明できるようになる。	『学ぼう日本語 初中級』(日本語 教育開発委員 会)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	「学ぼう日本語初中級17課」 残念だと思ったことを伝える。		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	8課 ことがらが説明できるようになる。 基準にして	『新完全マスター N2(スリーエー ネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	～をもとにして)、～に基づいて、～に沿って		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	8課 ことがらが説明できるようになる。 基準にして	『新完全マスター N2(スリーエー ネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型: ～のもとで、のもとに、～に向け、～向き 問題		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	9課 ことがらが説明できるようになる。 ～に関して、～に対応して	『新完全マスター N2(スリーエー ネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	～につれて、～にしたがって、～に伴って、～と共に		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	9課 ことがらが説明できるようになる。 ～に関して、～に対応して	『新完全マスター N2(スリーエー ネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:～次第だ/～に応じて/～につけて 問題		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	10課 ことがらが説明できるようになる。 2つの同じ言葉を受かって表す言葉	『新完全マスター N2(スリーエー ネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:～とか、とか、～やら、やら、～というか、というか		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	10課 ことがらが説明できるようになる。 2つの同じ言葉を受かって表す言葉	『新完全マスター N2(スリーエー ネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:～にしても、～にしても、～といった 1課-10課復習 問題		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	11課 主観を含めて説明できるようになる。 ～に関係なく、無視して	『新完全マスター N2(スリーエー ネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:～ないでvs～なくて、～を問わず、～にかかわりなく、		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	11課 主観を含めて説明できるようになる。 ～に関係なく、無視して	『新完全マスター N2(スリーエー ネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型:～もかまわず、～はともかく、～はさておき 問題		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	感激したことや驚いたことを表せるようになる。	『学ぼう日本語 中級』(日本語教 育開発委員会)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	「学ぼう日本語中級21課」 文型:～だけあって、～だけのことはある、～ことに、～こそ、～こと とか		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	日本語学科(昼間部1.5年制)		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	文法(中上級)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	160 (8) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時間	前期	教室名	501教室
担当教員	山上直子、中村絵、瀬野幸子	実務経験とその関連資格	【中村】2013年3月に大学にて日本語教員養成課程を修了。その後、Universidad Espiritu Santo (エクアドル)において2年間、日本語を教えた。帰国後、大阪府立桃谷高等学校III部で半年間、英語を教えるかかわり外国籍の学生に対して日本語を教えていた。			
<b>《授業科目における学習内容》</b> 毎回、授業の最初に前日のチェックテストを実施する。文法中心の講義になるが、読解文法や短文読解では意見をまとめ、それを自分の言葉に変えて分かりやすく説明するなど総合的な日本語力を身につける。就職面接では考えをすぐにまとめ伝える力が必要になる。読解文法では5W1Hなどの質問を日本語で理解し、わかりやすく答える力をつける。毎回、15-20分日本語能力試験対策形式の問題を解く時間をとる。						
<b>《成績評価の方法と基準》</b> 1. 定期試験:70% 2. 宿題提出:20% 3. チェックテスト:10% 成績評価基準のさらなる評価については授業中に指示する。						
<b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b> 『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』、『日本語能力試験N2完全模試(Jリサーチ)』 『ドリル&ドリルN2((ユニコム)』(週末宿題用) 『学ぼう日本語 初中級』(日本語教育開発委員会)、『学ぼう日本語 中級』(日本語教材開発委員会)						
<b>《授業外における学習方法》</b> 授業前に本文を一読し、わからない語彙は調べておくこと。 授業後は復習をすること、次の授業の最初に毎回チェックテストを課す。 週末に宿題を課す。普段からできるだけ日本語を使おうという気持ちを持つことは大切です。						
<b>《履修に当たっての留意点》</b> 将来日本で就職することを目標に、選択問題だけではなく、短文作成や、既習文型との対比、接続などにもポイントを置き、運用力を重視した授業を行う。読解文法では全体の流れをつかみ総合力を身につける。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第31回	講義形式	授業を通じての到達目標	感激したことや驚いたことを表せるようになる。	『学ぼう日本語 中級』(日本語教育開発委員会)』	予習、復習	
		各コマにおける授業予定	「学ぼう日本語中級21課」 上手な感情の表し方			
第32回	実習形式	授業を通じての到達目標	12課 主観を含めて説明できるようになる。 強く否定する	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習	
		各コマにおける授業予定	文型:絶対～ない、～はずがない、～ないことはない ～わけがない、～どころではない、～どころか			
第33回	講義形式	授業を通じての到達目標	12課 主観を含めて説明できるようになる。 強く否定しない	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習	
		各コマにおける授業予定	文型:～ものか、～わけではない、～というわけではない、～というものではない、～というものでもない			
第34回	講義形式	授業を通じての到達目標	13課 主観を含めて説明できるようになる。 ～(話題)は	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習	
		各コマにおける授業予定	文型:～とは、～といえ			
第35回	講義形式	授業を通じての到達目標	13課 主観を含めて説明できるようになる。 ～(話題)は	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習	
		各コマにおける授業予定	文型: ～という、～といえ、～といったら、～(のこと)となる、～といったら 問題			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第36回	講義形式	授業を通じての到達目標	14課 主観を含めて説明できるようになる。 逆説	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	～だけ、～しか～ない、～に限り		
第37回	講義形式	授業を通じての到達目標	14課 主観を含めて説明できるようになる。 逆説	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型：～限り(は)、～限りでは、～によって限って 問題		
第38回	講義形式	授業を通じての到達目標	15課 主観を含めて説明できるようになる。 もし～、たとえ～(後件に注意する)	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	N3復習、～としたら、～とすれば、～とすると、～となったら、～となれば、～となると、～ものなら		
第39回	講義形式	授業を通じての到達目標	15課 主観を含めて説明できるようになる。 もし～、たとえ～(後件に注意する)	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型：～(よ)うものなら、～ないことには、～を抜きにしては、～ としても、～にしても、～にしる、～にせよ 問題：1-15復習		
第40回	講義形式	授業を通じての到達目標	意志や決心を表せるようになる。	『学ぼう日本語中級』(日本語教育開発委員会)	予習、復習
		各コマにおける授業予定	「学ぼう日本語中級22課」 文型：～上で、～以上は、～からには、～ことなく		
第41回	講義形式	授業を通じての到達目標	意志や決心を表せるようになる。	『学ぼう日本語中級』(日本語教育開発委員会)	予習、復習
		各コマにおける授業予定	「学ぼう日本語初中級22課」 上手に決心を表す。		
第42回	講義形式	授業を通じての到達目標	16課 主観を含めて説明できるようになる。 理由を表す言葉(1)	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型：N4文型復習(理由～て、～から、～ので) ～によって、～ものだから、～もので、～もの		
第43回	講義形式	授業を通じての到達目標	16課 主観を含めて説明できるようになる。	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型：～おかげだ、～せいだ、～あまり、～につき 問題		
第44回	講義形式	授業を通じての到達目標	17課 主観を含めて説明できるようになる。 理由を表す言葉(2)	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型：～ことだし、～のことだから、～だけに		
第45回	講義形式	授業を通じての到達目標	17課 主観を含めて説明できるようになる。	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型：～ばかりに、～からには、～以上は、～上は、～ばかり の復習 問題		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	日本語学科(昼間部1.5年制)		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	文法(中上級)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	160 (8) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時間	前期	教室名	501教室
担当教員	山上直子、中村絵、瀬野幸子	実務経験とその関連資格	【中村】2013年3月に大学にて日本語教員養成課程を修了。その後、Universidad Espiritu Santo (エクアドル)において2年間、日本語を教えた。帰国後、大阪府立桃谷高等学校III部で半年間、英語を教えるかかわり外国籍の学生に対して日本語を教えていた。			
<b>《授業科目における学習内容》</b>						
<p>毎回、授業の最初に前日のチェックテストを実施する。文法中心の講義になるが、読解文法や短文読解では意見をまとめ、それを自分の言葉に変えて分かりやすく説明するなど総合的な日本語力を身につける。就職面接では考えをすぐにまとめ伝える力が必要になる。読解文法では5W1Hなどの質問を日本語で理解し、わかりやすく答える力をつける。毎回、15-20分日本語能力試験対策形式の問題を解く時間をとる。</p>						
<b>《成績評価の方法と基準》</b>						
<p>1. 定期試験:70%                  2. 宿題提出:20%                  3. チェックテスト:10%                  成績評価基準のさらなる評価については授業中に指示する。</p>						
<b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b>						
<p>『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』、『日本語能力試験N2完全模試(Jリサーチ)』                  『ドリル&amp;ドリルN2((ユニコム)』(週末宿題用)                  『学ぼう日本語 初中級』(日本語教育開発委員会)、『学ぼう日本語 中級』(日本語教材開発委員会)』</p>						
<b>《授業外における学習方法》</b>						
<p>授業前に本文を一読し、わからない語彙は調べておくこと。                  授業後は復習をすること、次の授業の最初に毎回チェックテストを課す。                  週末に宿題を課す。普段からできるだけ日本語を使おうという気持ちを持つことは大切です。</p>						
<b>《履修に当たっての留意点》</b>						
<p>将来日本で就職することを目標に、選択問題だけではなく、短文作成や、既習文型との対比、接続などにもポイントを置き、運用力を重視した授業を行う。読解文法では全体の流れをつかみ総合力を身につける。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第46回	講義形式	授業を通じての到達目標	18課 主観を含めて説明できるようになる。 できない、できる	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習	
		各コマにおける授業予定	文型: 初級復習(可能形)、～にくいvs～づらい ～がたい、～わかにはいかない、～わけにもいらない (「わけ」復習)			
第47回	講義形式	授業を通じての到達目標	18課 主観を含めて説明できるようになる。 できない、できる	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習	
		各コマにおける授業予定	文型: ～かねる、～ようがない、～どころではない、～得る/得 問題			
第48回	講義形式	授業を通じての到達目標	19課 主観を含めて説明できるようになる。 ～を見て評価すると、～の立場で評価すると	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習	
		各コマにおける授業予定	文型: N3文型復習(～を考えると、～からいうと) ～わりには、～にしては			
第49回	講義形式	授業を通じての到達目標	19課 主観を含めて説明できるようになる。 ～を見て評価すると、～の立場で評価すると	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習	
		各コマにおける授業予定	文型: ～だけのことはある、～として、～にとって、～にしたら、 ～にすれば、～にしてみれば、～にしても			
第50回	講義形式	授業を通じての到達目標	20課 主観を含めて説明できるようになる。 結果がどうなったか。	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習	
		各コマにおける授業予定	文型: 初級復習(～たらvs～と)、～ところ、～きり、～あげく 問題			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第51回	講義形式	授業を通じての到達目標	20課 主観を含めて説明できるようになる。 結果がどうなったか。	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型: ~末(に)、~ところだった、~ずじまいだ 問題		
第52回	講義形式	授業を通じての到達目標	「できない」ということを違う言葉で表現できるようになる。	『学ぼう日本語中級』(日本語教育開発委員会)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	「学ぼう日本語初中級25課」 文型: ~ざるを得ない、~ようがない、~かねるなど		
第53回	講義形式	授業を通じての到達目標	「できない」ということを違う言葉で表現できるようになる。	『学ぼう日本語 中級』(日本語教育開発委員会)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	「学ぼう日本語初中級25課」 上手な否定の仕方		
第54回	講義形式	授業を通じての到達目標	21課 主観を含めて説明できるようになる。 強調	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型: ~こそ、~くらい、~など、~まで		
第55回	講義形式	授業を通じての到達目標	21課 主観を含めて説明できるようになる。	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型: 「~として~ない」、「~さえ」、「~ても」 問題		
第56回	講義形式	授業を通じての到達目標	22課 主観を述べることができる。	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型: だろうと思う、かもしれない、はずだvsべきだ ~とみえる、~かねない、~おそれがある		
第57回	講義形式	授業を通じての到達目標	22課 主観を述べることができる。 ~だろうと思う	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型: ~まい、~ではあるまい、~に違いない、~に相違ない、 ~に決まっている 問題		
第58回	講義形式	授業を通じての到達目標	23課 主観を述べることができる。 感想を言う、主張する	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型: ~と思う、~ものだ、~というものだ、~にすぎない		
第59回	講義形式	授業を通じての到達目標	23課 主観を述べることができる。 感想を言う、主張する。	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型: ~に他ならない、~に越したことはない、~しかない、~よりほかない、~べきだ/~べきではない 問題		
第60回	講義形式	授業を通じての到達目標	24課 主観を述べることができる。 提案する、意志を表す。	『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型: ~ませんかvs~ましょうか、~たほうがいい、 ~ようではないか、~ことだ、~ものだ、~ものではない		



2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	日本語学科(昼間部1.5年制)		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	文法(中上級)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	160 (8) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時間	前期	教室名	501教室
担当教員	山上直子、中村絵、瀬野幸子	実務経験とその関連資格	【中村】2013年3月に大学にて日本語教員養成課程を修了。その後、Universidad Espiritu Santo (エクアドル)において2年間、日本語を教えた。帰国後、大阪府立桃谷高等学校III部で半年間、英語を教えるかかわり外国籍の学生に対して日本語を教えていた。			
<b>《授業科目における学習内容》</b> 毎回、授業の最初に前日のチェックテストを実施する。文法中心の講義になるが、読解文法や短文読解では意見をまとめ、それを自分の言葉に変えて分かりやすく説明するなど総合的な日本語力を身につける。就職面接では考えをすぐにまとめ伝える力が必要になる。読解文法では5W1Hなどの質問を日本語で理解し、わかりやすく答える力をつける。毎回、15-20分日本語能力試験対策形式の問題を解く時間をとる。						
<b>《成績評価の方法と基準》</b> 1. 定期試験:70% 2. 宿題提出:20% 3. チェックテスト:10% 成績評価基準のさらなる評価については授業中に指示する。						
<b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b> 『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』、『日本語能力試験N2完全模試(Jリサーチ)』 『ドリル&ドリルN2((ユニコム)』(週末宿題用) 『学ぼう日本語 初中級』(日本語教育開発委員会)、『学ぼう日本語 中級』(日本語教材開発委員会)						
<b>《授業外における学習方法》</b> 授業前に本文を一読し、わからない語彙は調べておくこと。 授業後は復習をすること、次の授業の最初に毎回チェックテストを課す。 週末に宿題を課す。普段からできるだけ日本語を使おうという気持ちを持つことは大切です。						
<b>《履修に当たっての留意点》</b> 将来日本で就職することを目標に、選択問題だけではなく、短文作成や、既習文型との対比、接続などにもポイントを置き、運用力を重視した授業を行う。読解文法では全体の流れをつかみ総合力を身につける。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第61回	講義形式	授業を通じての到達目標	24課 主観を述べることができる。 提案する、意志を表す	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク	予習、復習	
		各コマにおける授業予定	文型: ~ことはない、~まい/~ようか~まいか、~ものか 問題			
第62回	講義形式	授業を通じての到達目標	物事の対象をはっきりと示すことができるようになる。	『学ぼう日本語中級』(日本語教育開発委員会)	予習、復習	
		各コマにおける授業予定	「学ぼう日本語初中級26課」 文型: ~通りに、~に関して、~に基づいて、~をめぐって			
第63回	講義形式	授業を通じての到達目標	物事の対象をはっきりと示すことができるようになる。	『学ぼう日本語中級』(日本語教育開発委員会)	予習、復習	
		各コマにおける授業予定	「学ぼう日本語初中級26課」 上手な指示の出し方			
第64回	講義形式	授業を通じての到達目標	25課 主観を述べることができる。 強く感じる・思いが強いられる。	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク	予習、復習	
		各コマにおける授業予定	文型: 「~てしかたがない・~てしょうがない・~てたまらない」 「~てならない」			
第65回	講義形式	授業を通じての到達目標	25課 主観を述べることができる。	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク	予習、復習	
		各コマにおける授業予定	文型: ~ないではいられない、~ないわけにはいかない、 ~ざるを得ない」			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第66回	講義形式	授業を通じての到達目標	26課 主観を述べることができる。 願う、感動する。	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型: ~たいvs ~てほしい、~たいものだ・~てほしいものだ、~ものだ		
第67回	講義形式	授業を通じての到達目標	26課 主観を述べることができる。	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク	予習、復習
		各コマにおける授業予定	文型: ~ないもの(だろう)か、~ものがある、~ことだ、~ことだろう 問題		
第68回	講義形式	授業を通じての到達目標	復習	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク	予習、復習
		各コマにおける授業予定	1-26課		
第69回	講義形式	授業を通じての到達目標	元の言葉から意味を推測できるようになる。	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク	予習、復習
		各コマにおける授業予定	「際する」「あたる」「通じる」など		
第70回	講義形式	授業を通じての到達目標	「言う」「する」を使った文型をマスターする。	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク	予習、復習
		各コマにおける授業予定	~といった、~からしてなど		
第71回	講義形式	授業を通じての到達目標	古い言葉から元の言葉の意味を理解する。	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク	予習、復習
		各コマにおける授業予定	~ず、~べし、~まい、など		
第72回	講義形式	授業を通じての到達目標	「もの」「こと」を使った言葉をマスターする。	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク	予習、復習
		各コマにおける授業予定	~ものか、~ものの、~ことだし、~ことだなど		
第73回	講義形式	授業を通じての到達目標	「わけ」「ところ」を使った言葉をマスターする。	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク	予習、復習
		各コマにおける授業予定	~わけがない、~わけではない、~どころではない、~たところなど		
第74回	講義形式	授業を通じての到達目標	同じ言葉、対になる言葉、特別な助詞の使い方をマスターする。	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク	予習、復習
		各コマにおける授業予定	~やら、~やら、~だの、~だの、など、までなど		
第75回	講義形式	授業を通じての到達目標	文の文法 文の組み立てのルールを身につける。	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク	予習、復習
		各コマにおける授業予定	決まった形 文末に否定の言い方がくるもの、疑問視につくもの、名詞を説明する形式など。		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	日本語学科(昼間部1.5年制)		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	文法(中上級)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	160 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時間	前期	教室名	501教室
担 当 教 員	山上直子、中村絵、瀬野幸子	実務経験とその関連資格	【中村】2013年3月に大学にて日本語教員養成課程を修了。その後、Universidad Espiritu Santo (エクアドル)において2年間、日本語を教えた。帰国後、大阪府立桃谷高等学校III部で半年間、英語を教えるかわら外国籍の学生に対して日本語を教えていた。			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>毎回、授業の最初に前日のチェックテストを実施する。文法中心の講義になるが、読解文法や短文読解では意見をまとめ、それを自分の言葉に変えて分かりやすく説明するなど総合的な日本語力を身につける。就職面接では考えをすぐにまとめ伝える力が必要になる。読解文法では5W1Hなどの質問を日本語で理解し、わかりやすく答える力をつける。毎回、15-20分日本語能力試験対策形式の問題を解く時間をとる。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>1. 定期試験:70%                  2. 宿題提出:20%                  3. チェックテスト:10%                  成績評価基準のさらなる評価については授業中に指示する。</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>『新完全マスターN2(スリーエーネットワーク)』、『日本語能力試験N2完全模試(Jリサーチ)』                  『ドリル&amp;ドリルN2((ユニコム)』(週末宿題用)                  『学ぼう日本語 初中級』(日本語教育開発委員会)、『学ぼう日本語 中級』(日本語教材開発委員会)』</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>授業前に本文を一読し、わからない語彙は調べておくこと。                  授業後は復習をすること、次の授業の最初に毎回チェックテストを課す。                  週末に宿題を課す。普段からできるだけ日本語を使おうという気持ちを持つことは大切です。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>将来日本で就職することを目標に、選択問題だけではなく、短文作成や、既習文型との対比、接続などにもポイントを置き、運用力を重視した授業を行う。読解文法では全体の流れをつかみ総合力を身につける。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第76回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	文章の文法 文章の呼応、時制を理解する。	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク	予習、復習	
		各コマに おける 授業予定	主語、述語、文末制限、時制(文末制限は語彙で学ぶ)。			
第77回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	文章の文法 条件を表す文を理解する。自他の使い分けができる。	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク	予習、復習	
		各コマに おける 授業予定	「と、ば、たら、なら、ても」、「自他動詞」			
第78回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	文章の文法 「～ている」「～ていく」の使い分け、受身・使役・使役受身が使える。	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク	予習、復習	
		各コマに おける 授業予定	視点を動かさずに表現する。			
第79回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	文章の文法 授受動詞	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク	予習、復習	
		各コマに おける 授業予定	「～てあげる」「～てもらう」「～てくれる」の使い分け			
第80回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	文章の文法 指示表現が使えるようになる。	「新完全マスターN2」スリーエーネットワーク	予習、復習	
		各コマに おける 授業予定	文章中の「こ」「そ」「あ」、「は」「が」の使い分け 接続表現など			